

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2023年2月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）
常務執行役員 鈴木 直樹

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2022年度第3四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2023年2月28日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

目次

1. 大和証券グループの概要 3
2. 中期経営計画
“Passion for the Best” 2023 概要 7
3. 個別戦略 10
4. サステナビリティ 23
5. 株主還元 28
- 参考資料 34

1. 大和証券グループの概要

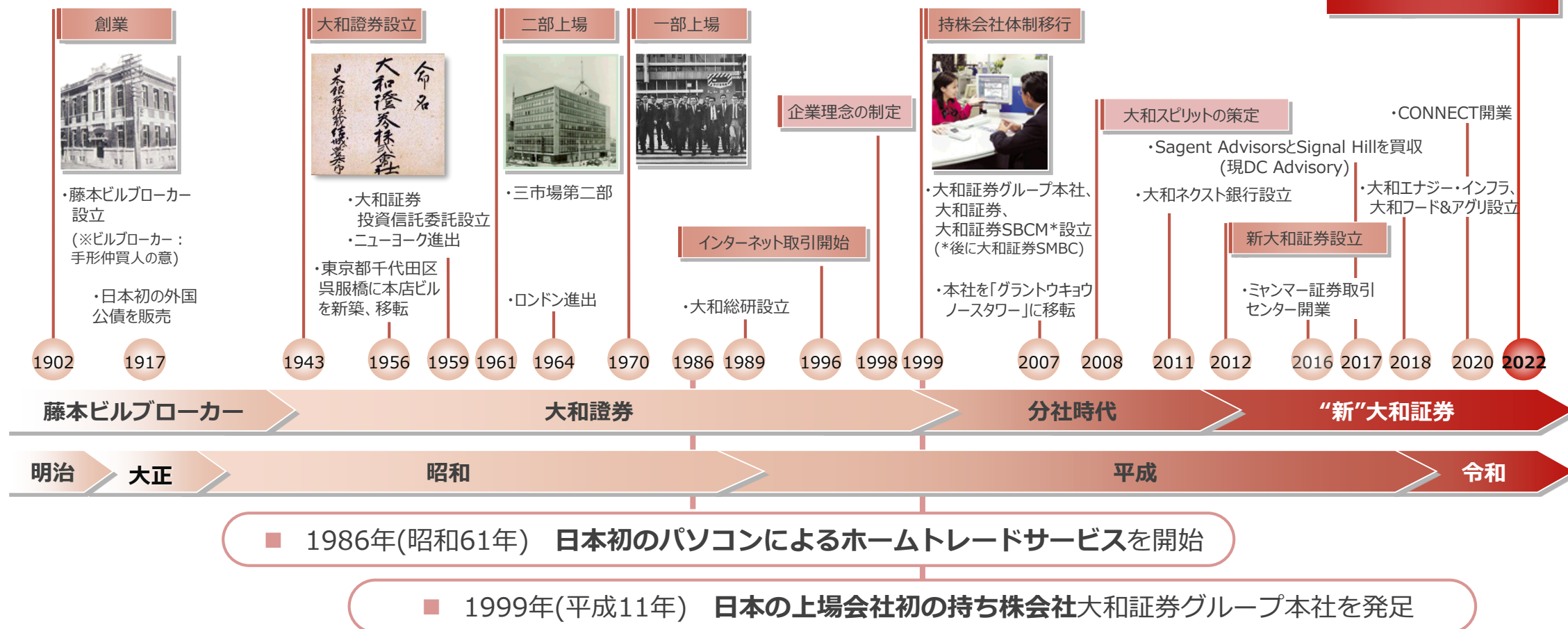
Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

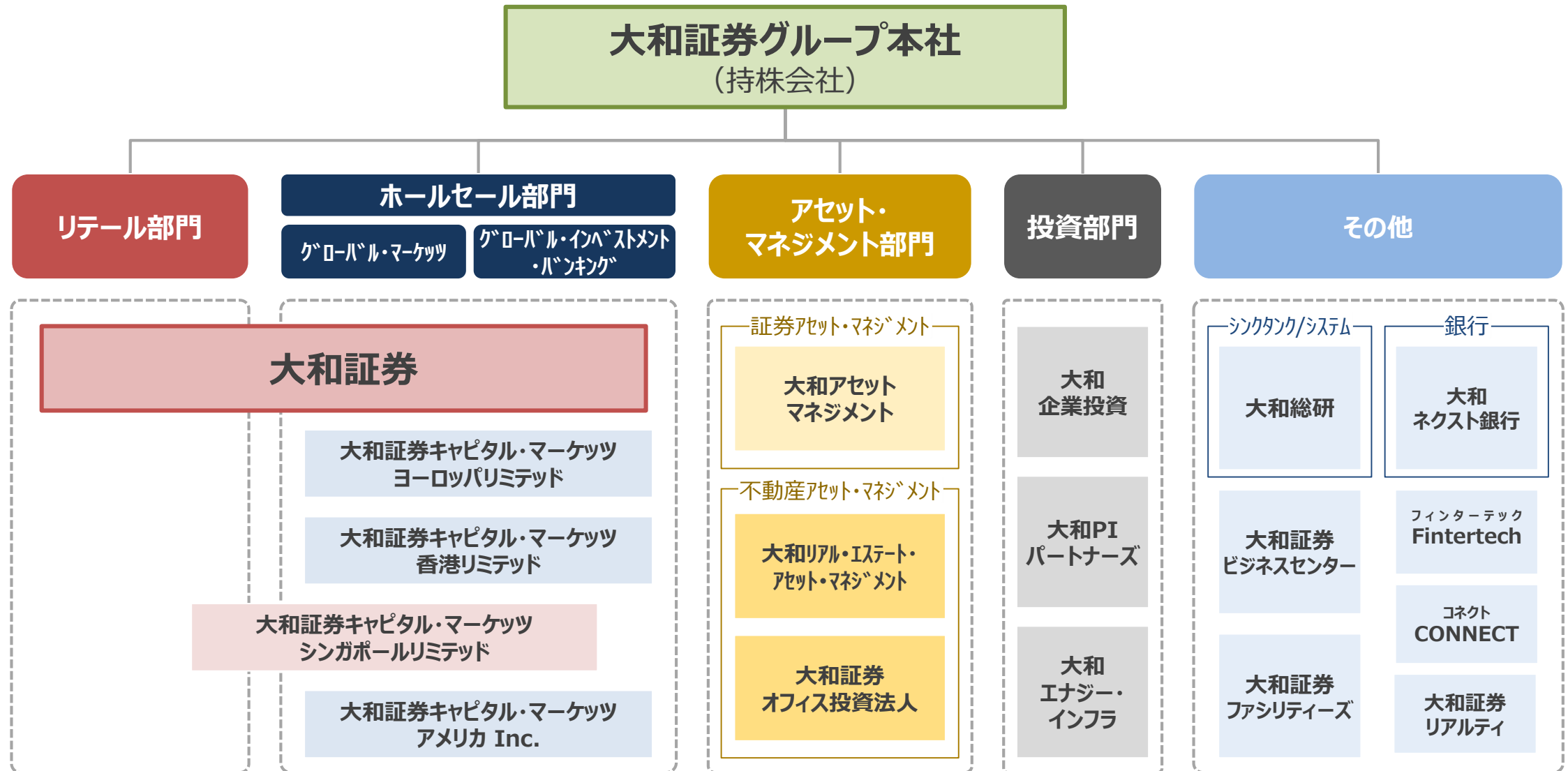
1902年の創業以来、120年の歴史の中で培ったDNA

= 時代の先を行く先進的な取り組みにより、資本市場の発展に貢献

創業120年



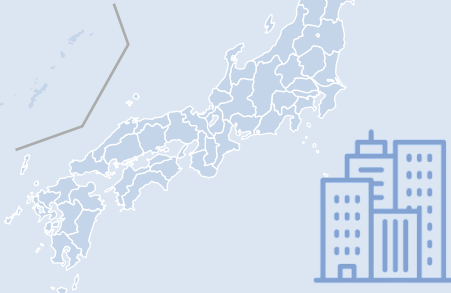
主要会社構成



数字で見る大和証券グループ

国内店舗数

181 店舗



預り資産
(大和証券)



74.1 兆円

従業員数^{*1}



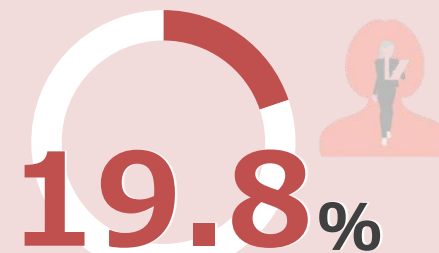
15,060 人

CFP
認定者

1,401 名

業界
No. 1^{*2}

女性管理職比率



グローバル拠点所在地

世界 24 カ国・地域



就職ブランドランキング^{*3}

総合
順位 3 位



時価総額^{*4}

約

1兆106 億円



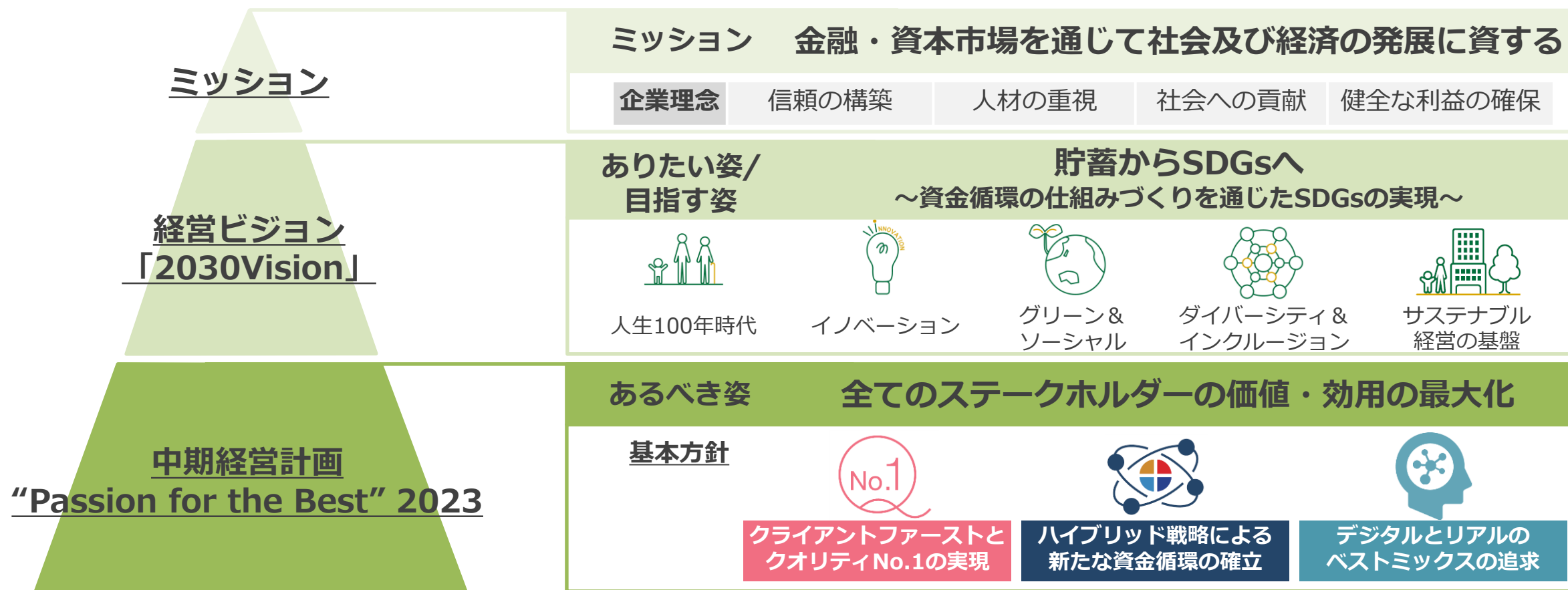
2. 中期経営計画 “Passion for the Best” 2023 概要

Daiwa Securities Group Inc.

中期経営計画の位置づけ

2030年に目指す姿として、経営ビジョン「2030Vision」を策定
その達成に向けた当初3年間の戦略が、中期経営計画“Passion for the Best” 2023

中期経営計画の位置づけ



2023年度数値目標（KPI）

財務・非財務KPIを設定
資産管理型ビジネス、ハイブリッド戦略の進捗に関するKPIを新たに追加

KPIおよび各KPIに関連する重点分野（2023年度達成目標）

財務 KPI	業績	資産管理型ビジネス	ハイブリッド戦略	財務基盤
	ROE 10%以上 経常利益 2,000億円以上	リテール部門 残高ベース収益比率 50%以上*1	ハイブリッド関連 経常利益 500億円以上 ハイブリッド関連 経常利益比率 25%程度	連結総自己資本 規制比率 18%以上維持
非財務 KPI	人材	資産管理型ビジネス	サステナビリティ	
	デジタルIT人材 200名以上 Python3エンジニア認定 基礎試験資格取得者数 1,000名以上 CFP/証券アナリスト 資格取得者数 3,000名以上	大和証券預り資産 90兆円以上	女性取締役比率 女性管理職比率 従業員満足度 SDGs関連ビジネス投資残高 SDGs債リーグテーブル 応援定期預金残高	30%以上*2 25%以上*3 80%以上維持 1,500億円以上 3位以内 2,000億円以上

3. 個別戦略

Daiwa Securities Group Inc.

リテール部門：お客様の最善の利益追求に向けた取組み

お客様の最善の利益を追求し、資産管理型ビジネスモデルの深化を図る

① NPS®* (→P12)

- ✓ お客様満足度の向上
- ✓ お客様とのお取引拡大

② 残高ベース収益拡大 (→P14)

- ✓ 投信フレックスプラン・ファンドラップなどのストック資産残高の拡大

資産管理型ビジネスの深化

③ 商品ラインアップ (→P15)

- ✓ ファンドラップ
- ✓ 新NISA拡充

④ 外部連携強化 (→P18)

- ✓ 強固な顧客基盤を有する外部企業との連携

リテール部門①：お客様満足度の向上（大和版NPS）

お客様本位の業務運営、お客様満足度向上への取組みを徹底

大和版NPS

- ✓ 2018年4月、お客様満足度の指標としてNPSを導入
- ✓ NPSとは、ある商品やサービスを家族や知人にどの程度薦めたいかを測る指標

Q. あなたは当社（または商品・サービス）を友人、知人、同僚にどの程度薦めたいと思いますか？

非常に
そう思う



推奨者

10 9

中立者

8 7

全く
思わない



批判者

6 5 4 3 2 1 0

推奨者の割合
(%)

－

批判者の割合
(%)

= NPS

NPSと業績の関連性（2021年度当社顧客実績）

■ お客様1人あたり手数料（批判者＝1.0）



推奨者は批判者の**1.5倍**の手数料

顧客の10%が批判者から中立者または中立者から推奨者になると

年間 **90～110億円**の増収効果

（高い満足度による顧客紹介による収益増加額を含む）

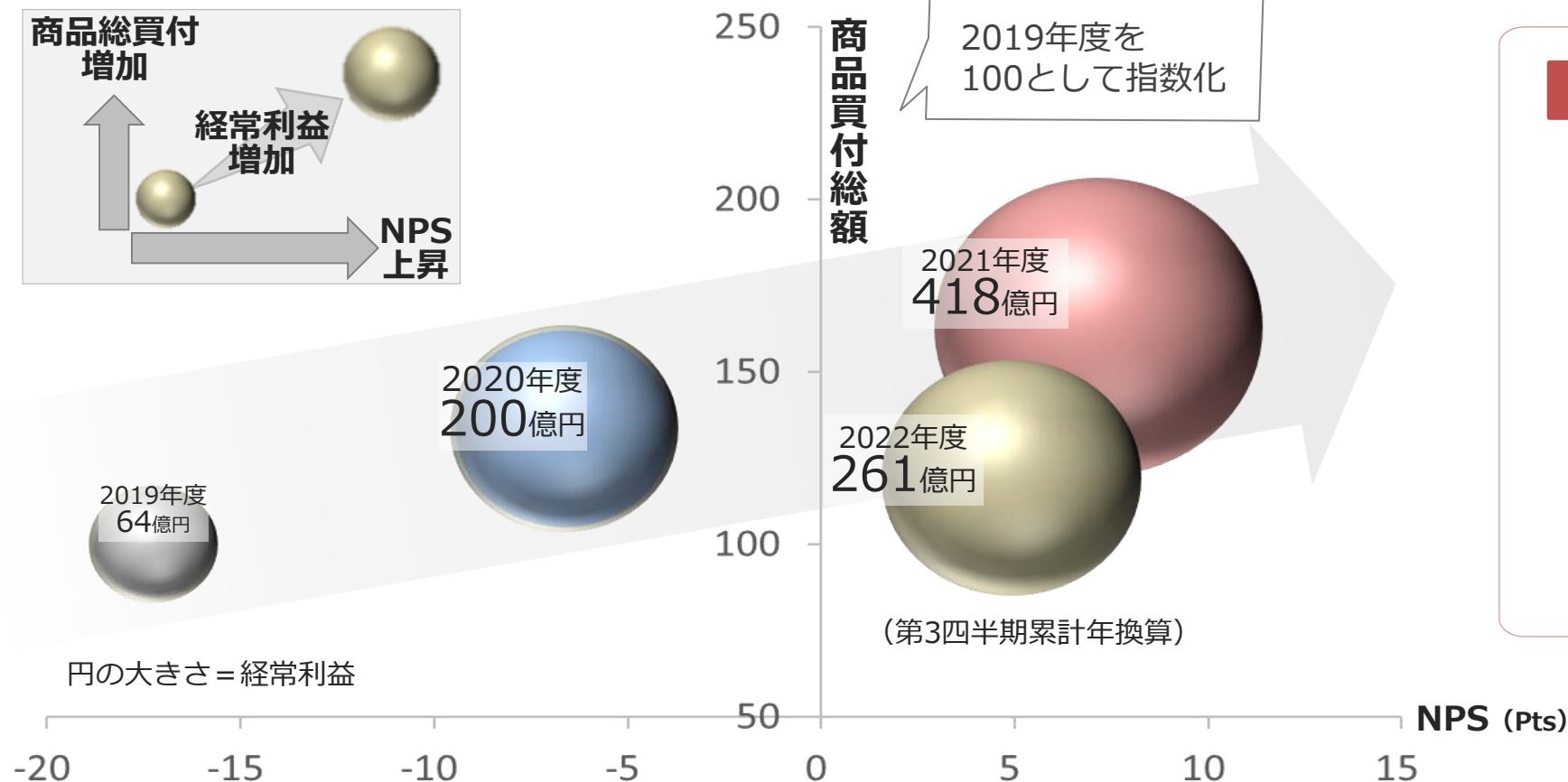
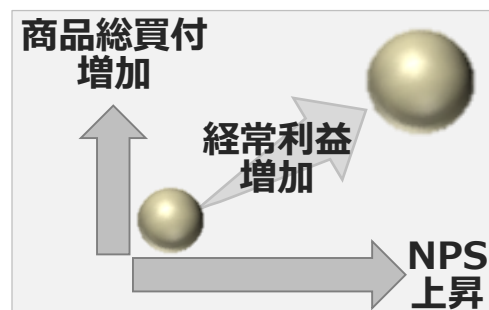
リテール部門①：お客様満足度の向上による成果・進捗

NPS 向上への取組み

お客さま満足度向上による
既存のお客さまとの取引拡大

既存のお客さまからの新規の
お客さまの紹介による取引拡大

NPSと商品買付額・経常利益の関係



新規口座に占める紹介比率*1



富裕層*2における
新規口座に占める
紹介比率は**56%**

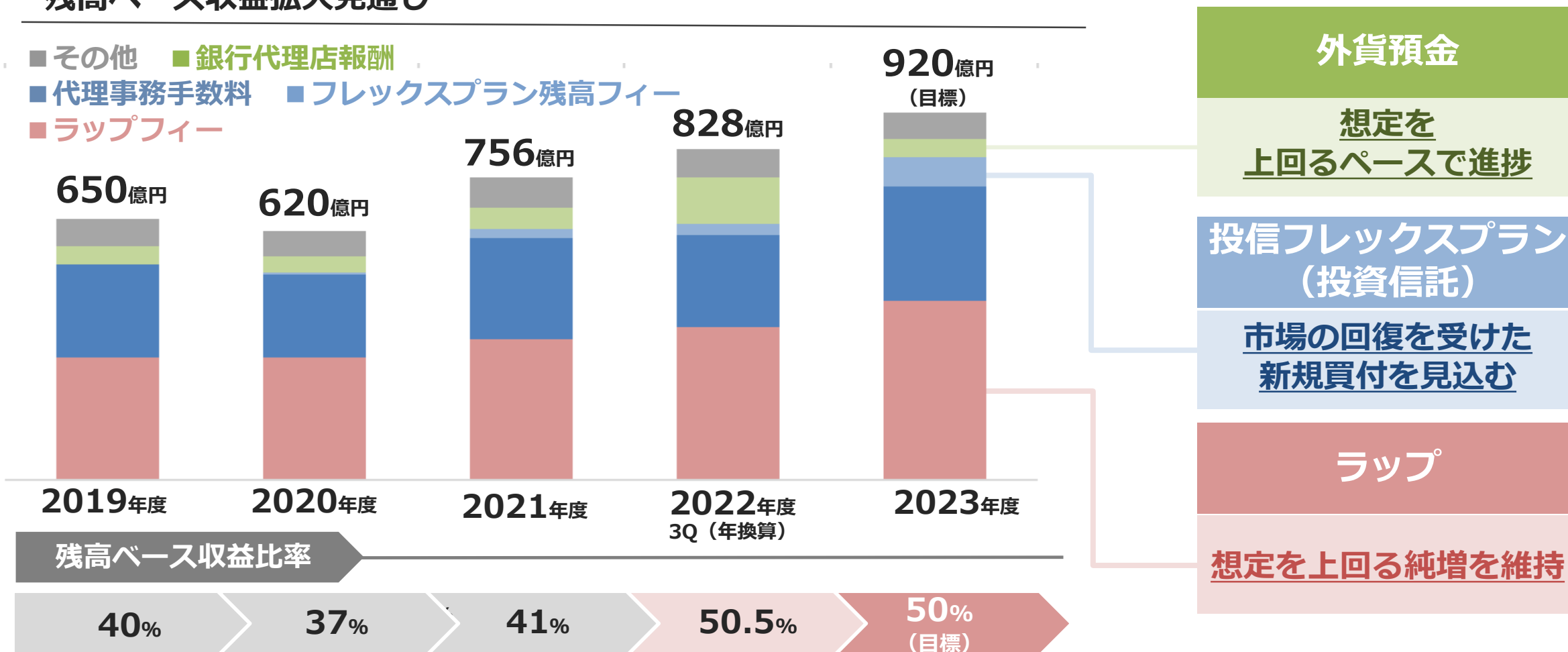
リテール部門②：残高ベース収益・ストック関連資産残高拡大

中計最終年度の目標達成に向けて順調に進捗

マーケットが大幅調整局面となる中、ファンドラップや、銀行代理店報酬が残高ベース収益を牽引

残高ベース収益拡大見通し

■ その他 ■ 銀行代理店報酬
 ■ 代理事務手数料 ■ フレックスプラン残高フィー
 ■ ラップフィー

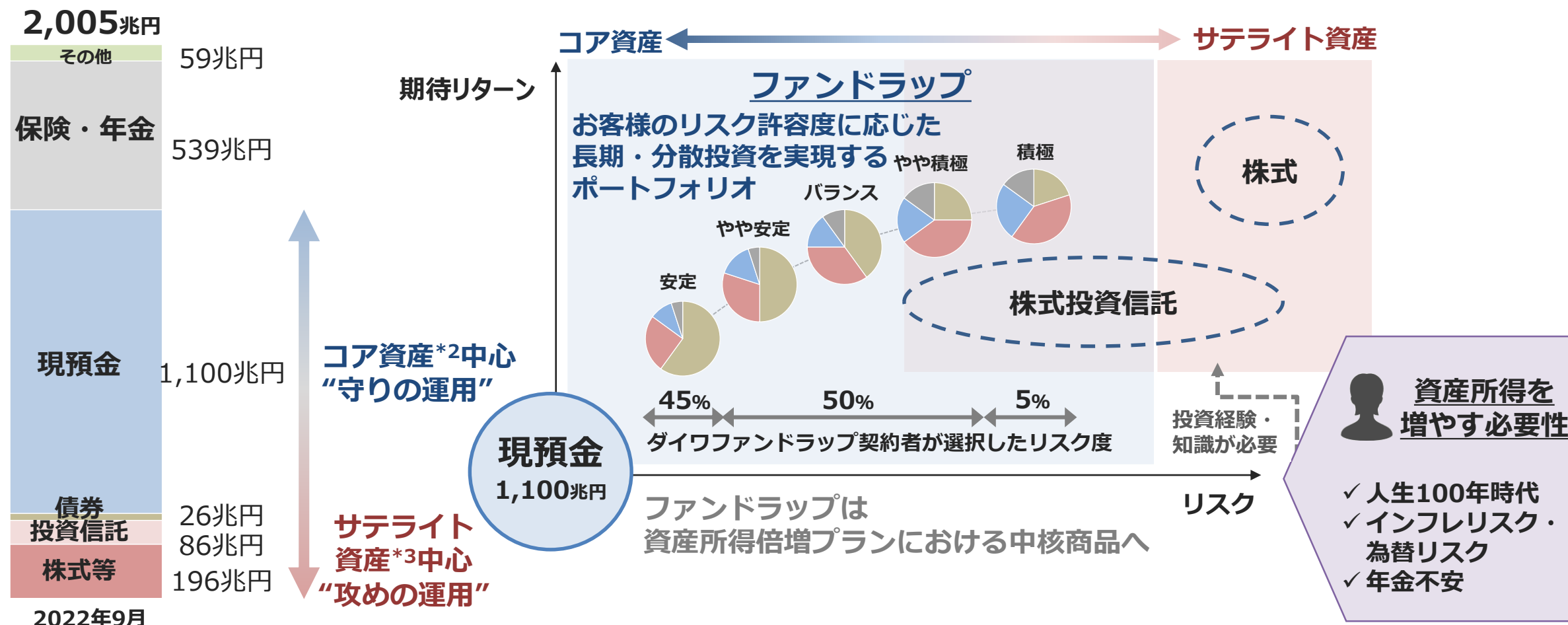


リテール部門③：ファンドラップのポテンシャル

インフレリスク・為替リスクに対する資産保全や人生100年時代への対応として、現預金に眠る1,100兆円からの大きな資金シフトが起きる可能性が高まる

個人金融資産の構成*1

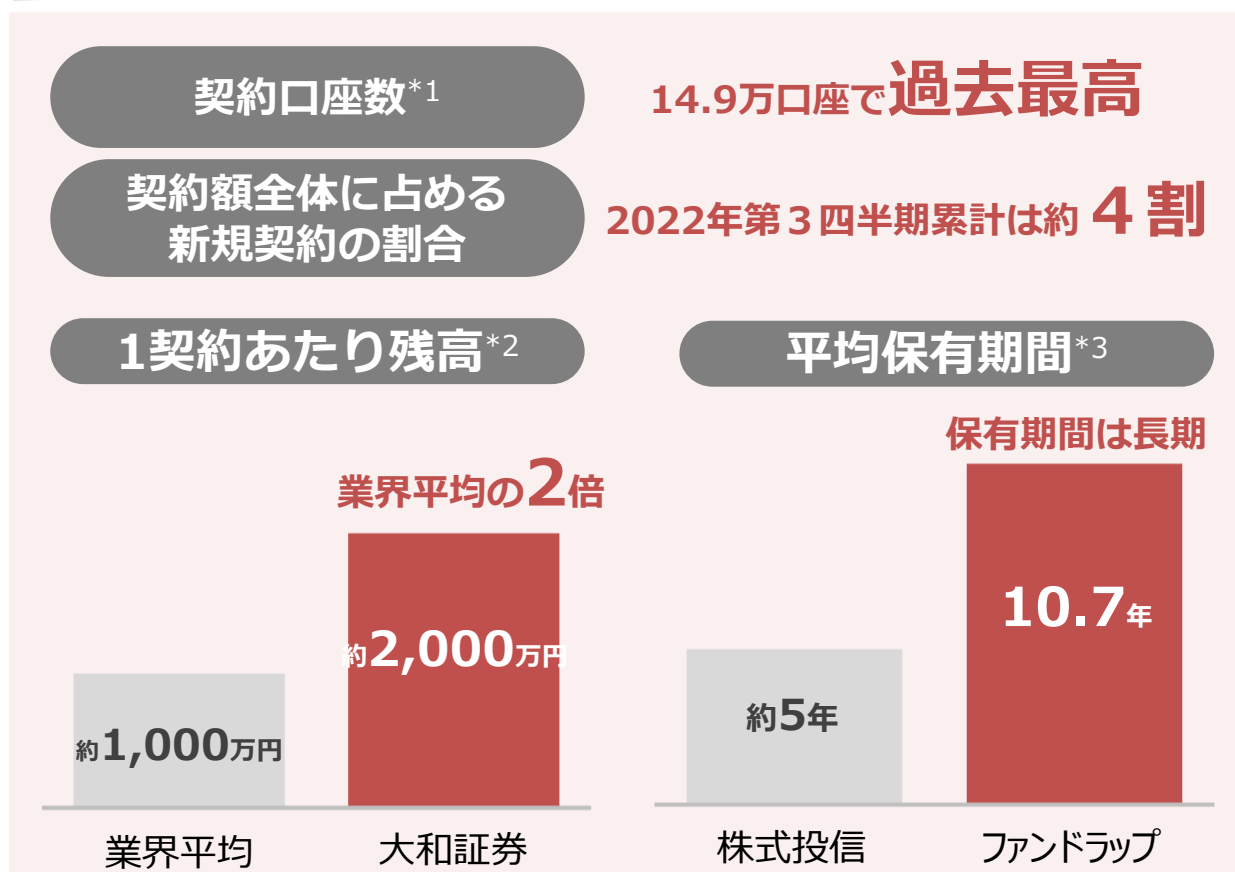
ファンドラップはコア資産の受け皿へ



リテール部門③：ファンドラップのポテンシャル

お客様に選ばれ、契約口座数は過去最高に。平均保有期間は10年超、1契約あたりの残高も業界の2倍
米国の普及度合いを鑑みると、今後も継続的な拡大が期待できる

お客様に選ばれる当社のラップ口座*



ラップ口座サービスのポテンシャル

	ラップ残高	個人金融資産に占める割合
日本	13.6兆円	0.7%
米国	1,282兆円	8.6%
米国/日本	94.0倍	12.7倍

データはいずれも2022年6月末時点。日米のラップ口座の金額はいずれも法人の契約を含む金額。為替レートはTTM（1米ドル=136.68円）を使用し大和証券グループ本社作成。

（出所）一般社団法人 日本投資顧問業協会「統計資料」、Cerulli Associates, Money Management Institute (MMI)

（出所）日銀資金循環統計（参考図表 2022年第2四半期の資金循環（速報））

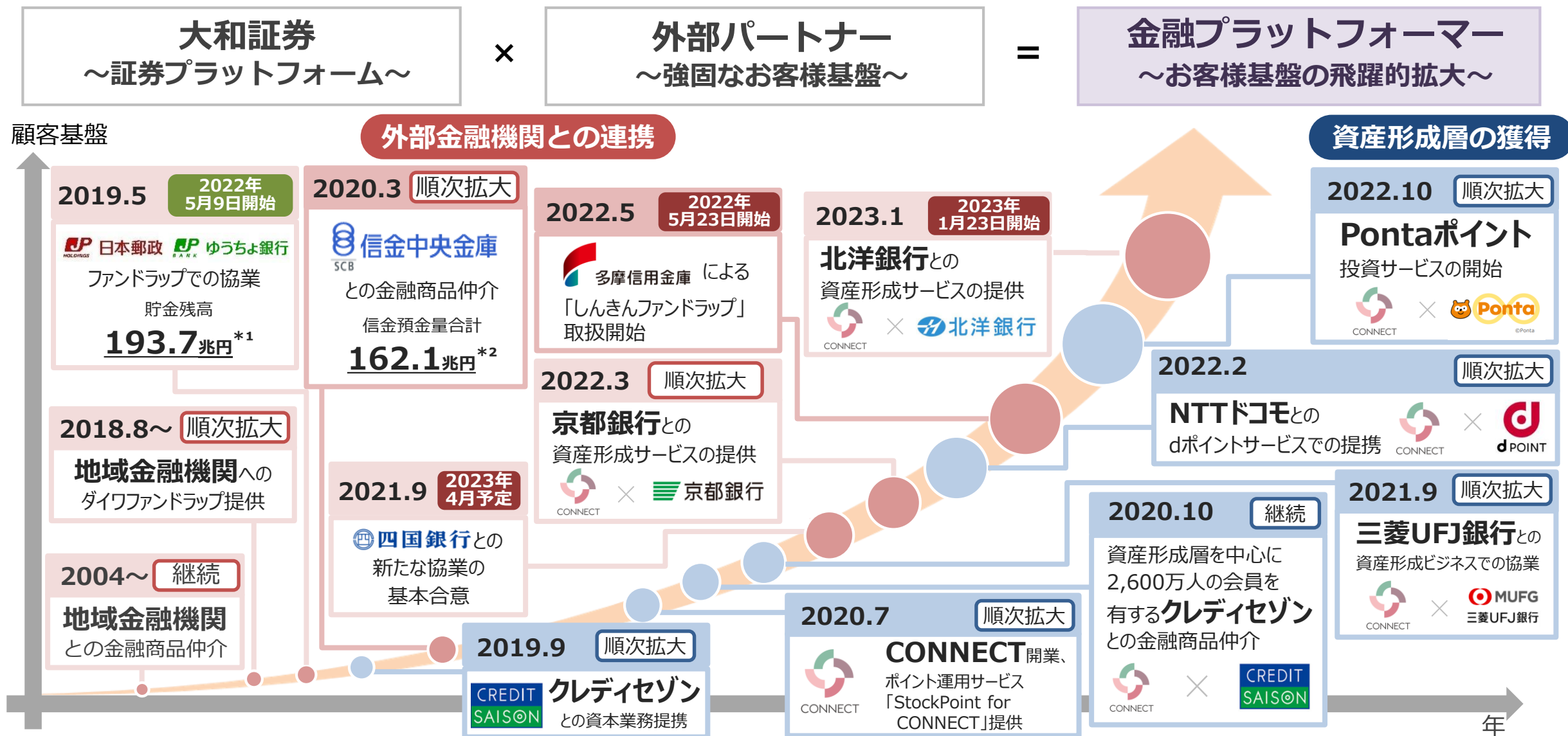
（出所）FRB, Financial Accounts of the United States (Non-profit Organization (NPO) を含む)

リテール部門③：NISA拡充

2024年から始まる、新NISA制度により「貯蓄から投資」に追い風が吹く

	現行NISA（～2023年）		新NISA（2024年～）
	一般NISA	つみたてNISA	
対象年齢	1/1時点で18歳以上（成人）		
年間非課税投資枠	120万円	←併用不可→ 40万円	つみたて投資枠：120万円 成長投資枠：240万円 計 360万円
非課税保有期間	買付した年から5年間	買付した年から20年間	無期限
投資可能期間	2014～2023年	2018～2023年*1	
生涯投資枠	—		1,800万円 (うち成長投資枠1,200万円)
投資方法	制限なし	積立投資に限る	つみたて投資枠：積立投資に限る 成長投資枠：制限なし
投資対象商品		積立投資に適した 一定基準を満たす商品	つみたて投資枠：現つみたてNISAに準ずる 成長投資枠：原則制限なし*2

リテール部門④：外部連携を通じたお客様基盤の飛躍的拡大



グループにおけるハイブリッドビジネスの位置づけ

不動産アセット・マネジメント、大和エネルギー・インフラ（DEI）を中心に収益を拡大し、
2023年度にハイブリッド関連経常利益500億円以上を目指す



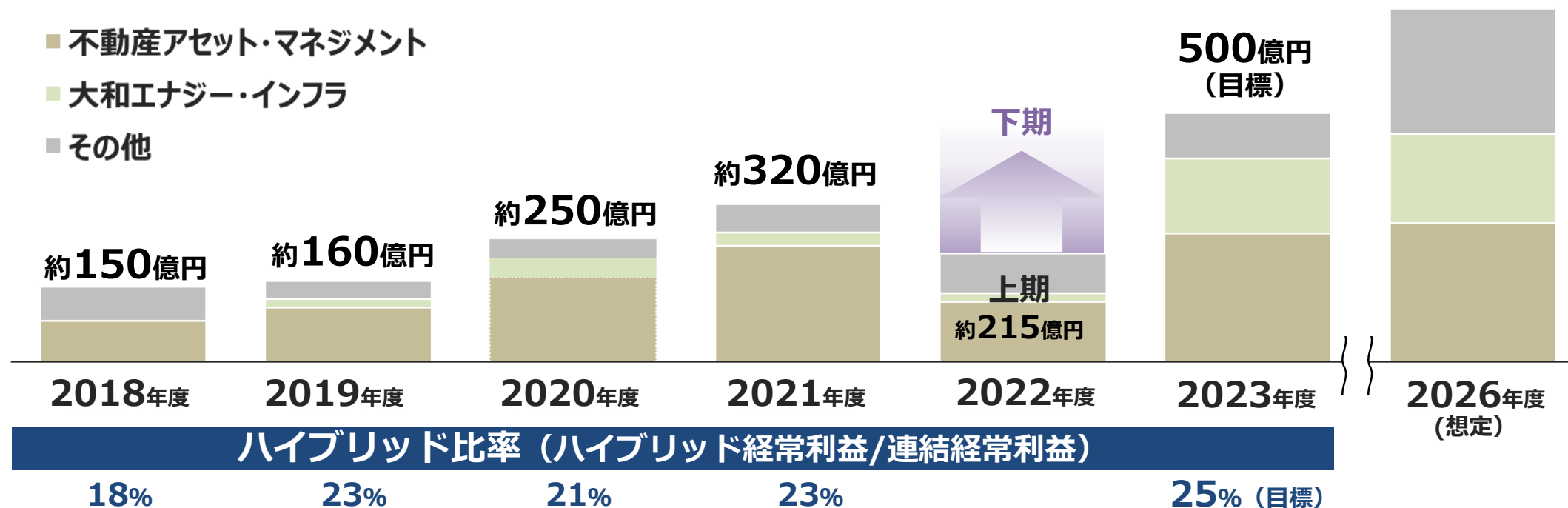
ハイブリッド戦略

収益源の多様化

×

証券業との シナジー拡大

ハイブリッド経常利益

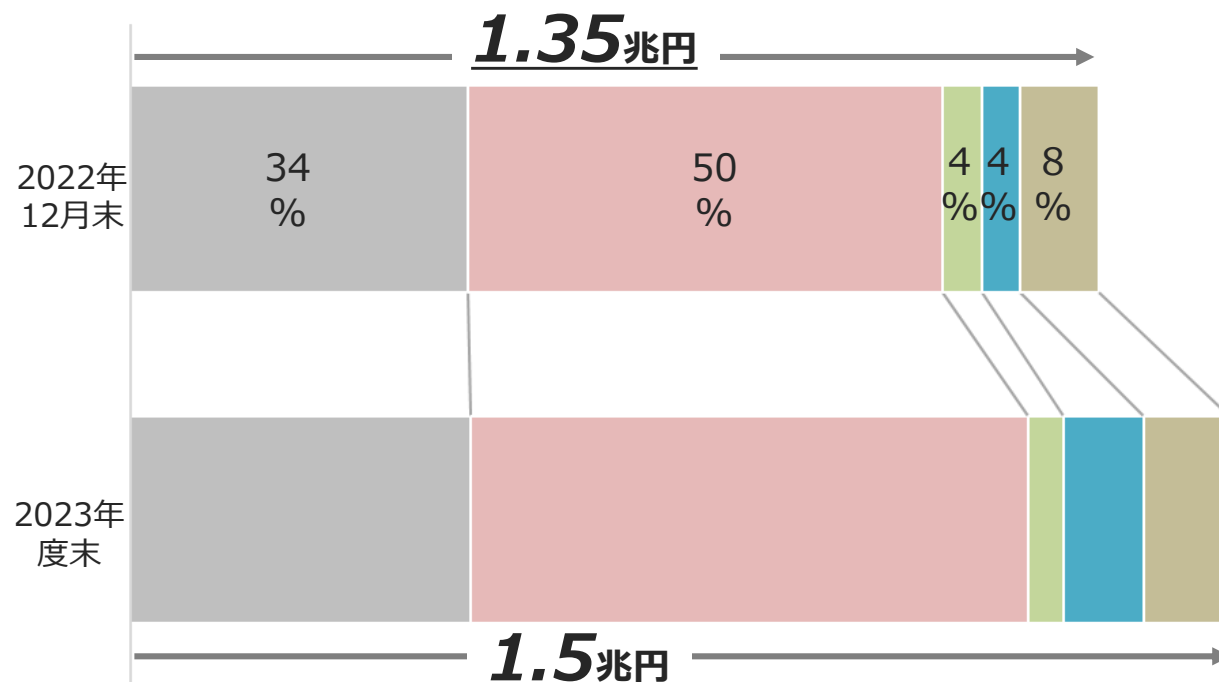


不動産AM関連ビジネス：運用資産の多様化・拡大

2023年度の運用資産残高目標は1.5兆円、経常利益目標は260億円
安定的な収益拡大に向けた運用資産の多様化・拡大を継続

不動産AM2社 ポートフォリオ*

■ オフィス ■ 住宅・ヘルスケア ■ ホテル ■ 物流 ■ インフラ



2023年度末目標へ向けて、
住宅・ヘルスケア施設、物流、インフラが拡大

2009年
オフィス



2014年
ヘルスケア施設



2020年
物流施設



運用対象資産の拡大

2013年
住宅



2018年
ホテル



リテール部門とのコラボレーション

ハイブリッド戦略で拡大した事業領域のアセットを金融商品化し、多様化したお客様ニーズに最適な商品・サービス・ソリューションを提供

リテール向け不動産小口化商品

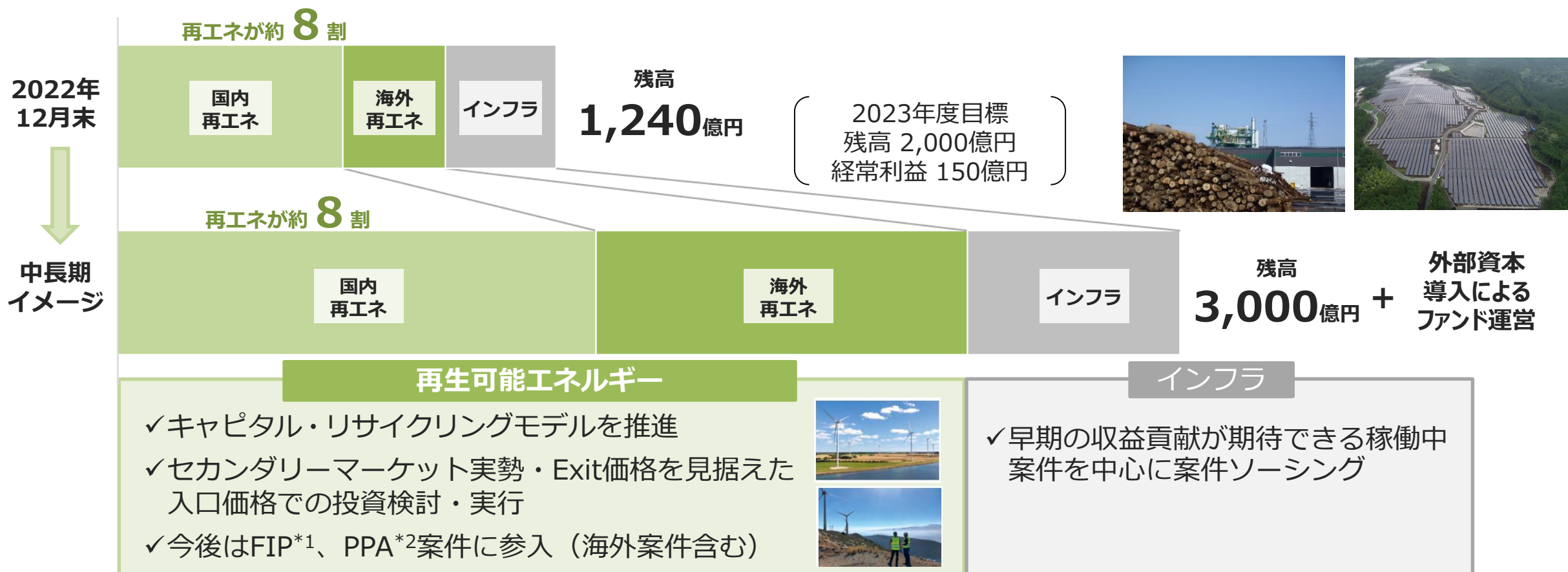
■2021年4月にリテール向け不動産小口化商品の組成・販売を行う大和証券リアルティを設立



大和エネルギー・インフラ：残高拡大

アセットクラスの多様化とグローバル展開により、中長期的に3,000億円規模の投融資残高を目指す
世界的な“カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現”の潮流を捉え、SDGs関連投融資を拡大

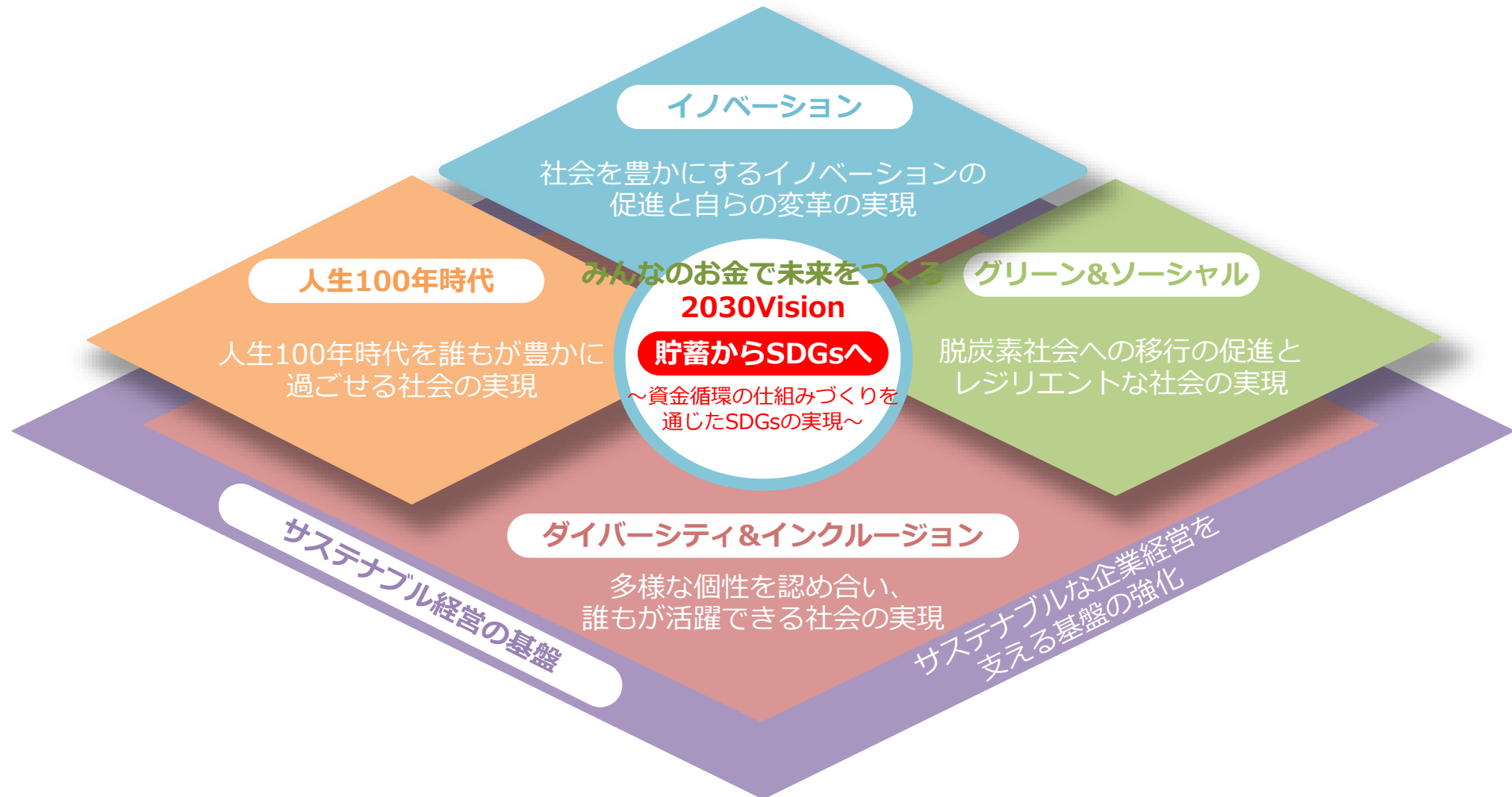
大和エネルギー・インフラ 投融資残高



4. サステナビリティ

Daiwa Securities Group Inc.

「2030Vision」におけるマテリアリティ



カーボンニュートラル宣言

大和証券グループ カーボンニュートラル宣言

- ① 2030年までの自社の温室効果ガス排出量（Scope1・2）ネットゼロ
- ② 2050年までの投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量等（Scope3）ネットゼロ
- ③ 金融ビジネスを通じた脱炭素社会へのスムーズな移行の支援

主な重点方針

ファイナンスを通じた
脱炭素社会実現

脱炭素社会実現に
貢献する新技術の支援・
ソリューションビジネスの推進

脱炭素社会実現に
資する投資機会の提供

自社の環境負荷低減

パリ協定と整合的な
目標設定と
透明性のある情報開示

グループ推進体制の強化

サステナビリティへ取り組み

国民の金融リテラシー向上に資するグループの取り組みを改めて強化
証券ビジネスを通じて培ってきた知識やノウハウを活かし、各世代に合わせた教材やプログラムを提供

- ✓ 2000年代より、学生向けに教材の提供のほか出張授業、教育研修の受入等を実施
- ✓ 2022年12月に「金融経済教育担当」を、2023年1月に大和総研に「金融経済教育推進室」新設
- ✓ ホームページのリニューアルを実施し、デジタル教材の申込や当社グループの各種取り組みを紹介

出張授業



教員研修受入



体験型コンテンツ*



*協賛

九段中等教育学校の企業訪問カリキュラム



中田社長との懇談の様子



エクイティ部等のフロア見学



各種外部評価（2023年1月末時点）

PASSION
FOR THE
BEST

ESG指数への組み入れ

GPIF選定ESGインデックス



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

GPIFが採用するESG国内株式指数 **すべて** に選定



FTSE4Good

17期連続採用

Member of
Dow Jones
Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

1999年の指数組成以来
連続採用

外部評価



8年連続選定



8年連続選定



6年連続選定



ESGレーティング

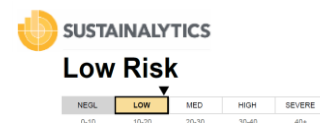


AAAを取得

- ✓ 最上位ランクである「**AAA**」を初めて獲得
- ✓ 特に「環境に配慮したファイナンス」「責任投資」「企業行動」の項目において、高評価
- ✓ 評価はグローバル14,000社を対象に実施
- ✓ 証券・投資銀行部門に属する**グローバル53社**の中で、「AAA」を獲得したのは**当社のみ**



Aリスト企業に選定



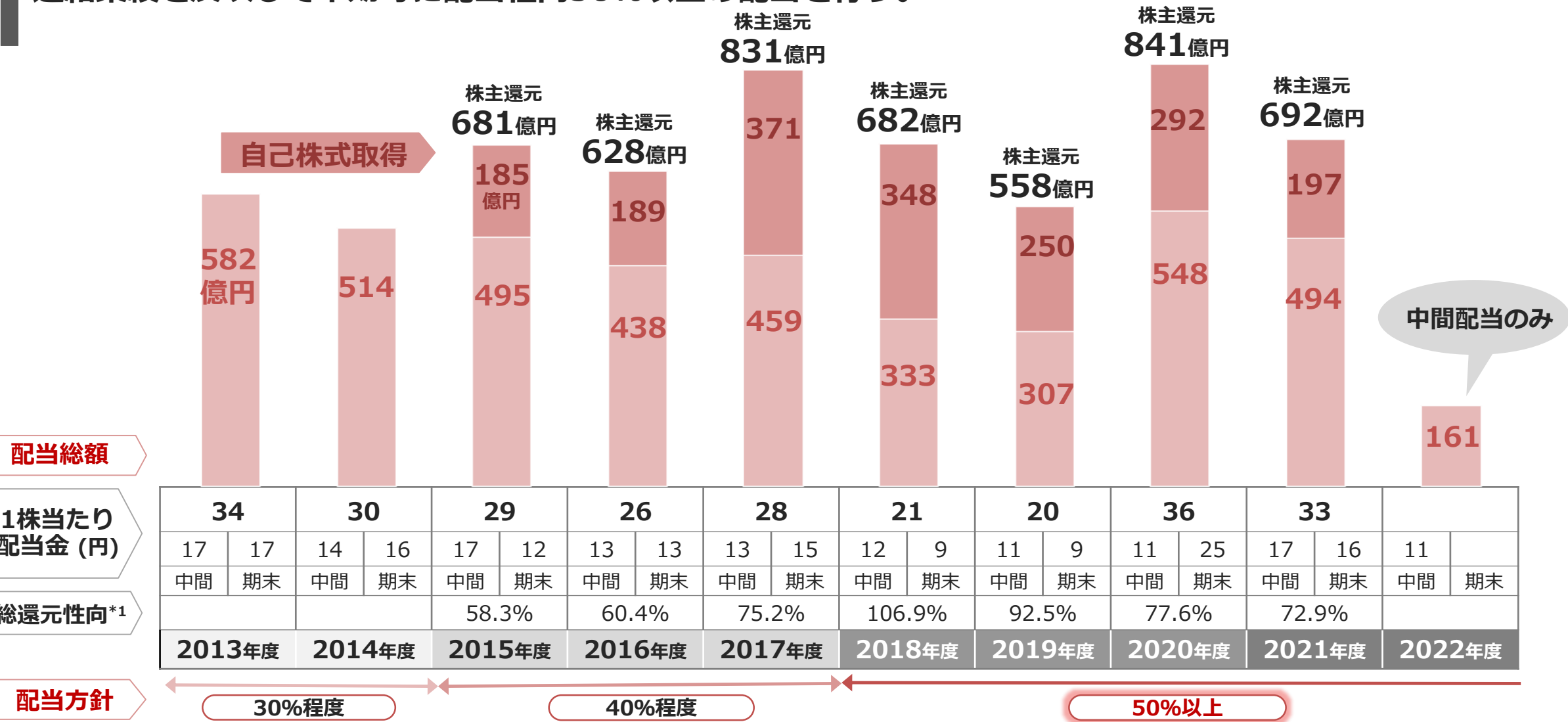
Low Riskを取得

5. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

株主還元の方針

連結業績を反映して半期毎に配当性向50%以上の配当を行う。



株主優待制度

株主優待品カタログから、好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

保有株式数	選べる 優待品	株主優待品カタログ	株主優待品カタログ 掲載例		
1,000～2,999株	1点	2,000円相当			
3,000～4,999株	2点	4,000円相当		山田養蜂場 はちみつ	鶴屋八幡 一口羊羹
5,000～9,999株	1点	5,000円相当			
10,000株以上	2点	10,000円相当		ゴディバ アイス ギフトセット	サントリー ワールド ウイスキー 碧 Ao

株主優待制度の充実

グループ会社が保有・運営するさまざまな施設でも株主優待をご利用いただけます

高齢者住宅の入居時費用割引

グッドタイムリビング
大和証券グループ

ご優待内容

- 入居時費用から、50万円を割引



首都圏・関西圏 33施設

－首都圏－



－関西圏－



● 運営施設

ホテル・ゴルフ場の割引/優待

大和リアル・エステート・アセット・マネジメント
Daiwa Real Estate Asset Management

大和PIパートナーズ
Daiwa PI Partners

ご優待内容

- ご宿泊料割引
- レストランご利用割引
- ワインフルボトルをサービスなど

全国 11ホテル・2ゴルフ場



今後のIRスケジュール

時期（予定）	スケジュール概要
3月29日	権利付き最終日
4月下旬	決算発表（2022年度第4四半期）
6月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「定時株主総会招集ご通知」（「議決権行使書」同封）発送 「株主優待品カタログ」発送
6月下旬	第86回定時株主総会
7月下旬	決算発表（2023年度第1四半期）
7月下旬	株主優待品申込締切
9月27日	権利付き最終日（中間）

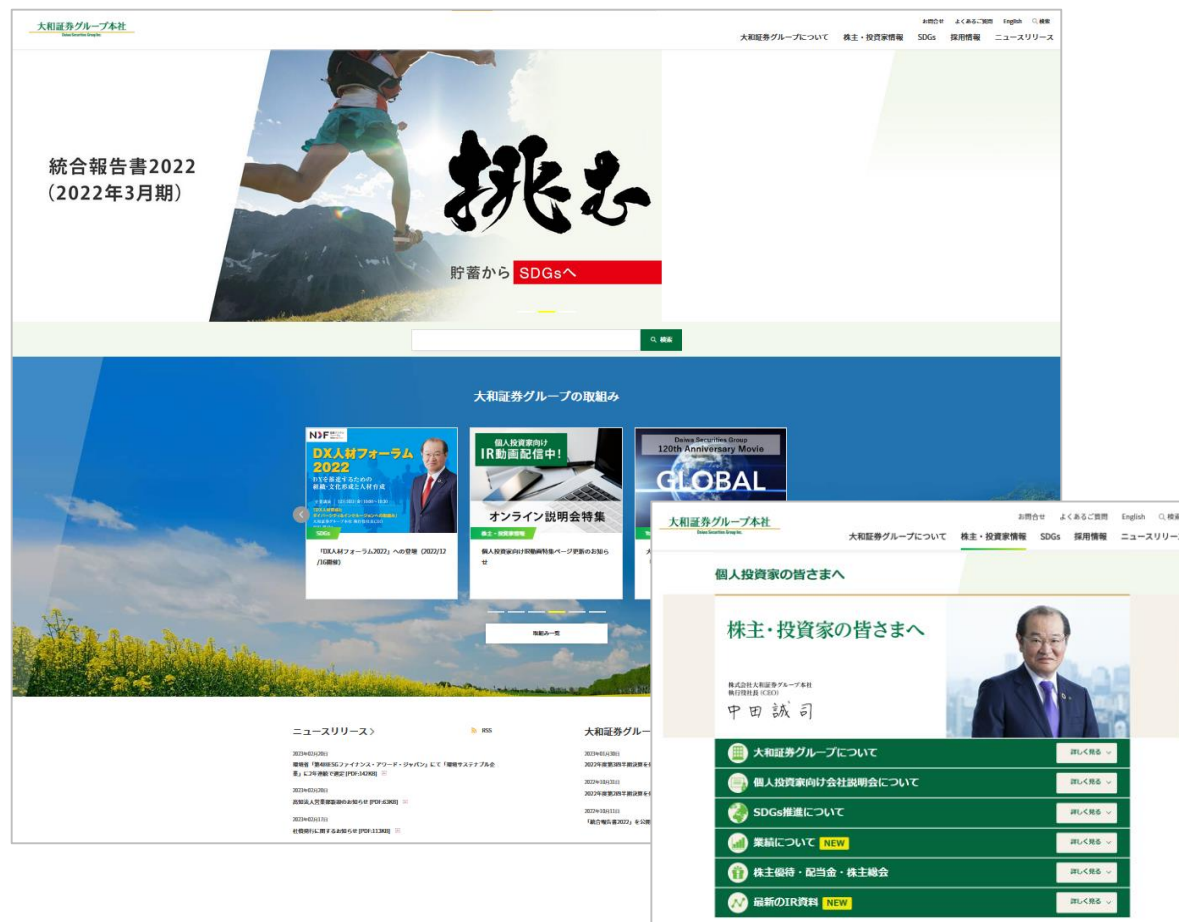
5. 株主還元

株主・投資家の皆さまへの情報発信



IRウェブサイト

【URL】 <https://www.daiwa-grp.jp/>



大和証券グループ公式YouTubeチャンネル

【URL】 <https://www.youtube.com/c/DaiwaGroup>



ダイワ・セレクション



注目!世界を変える
「SDGs/ESG投資」



大和スペシャリスト
レポート

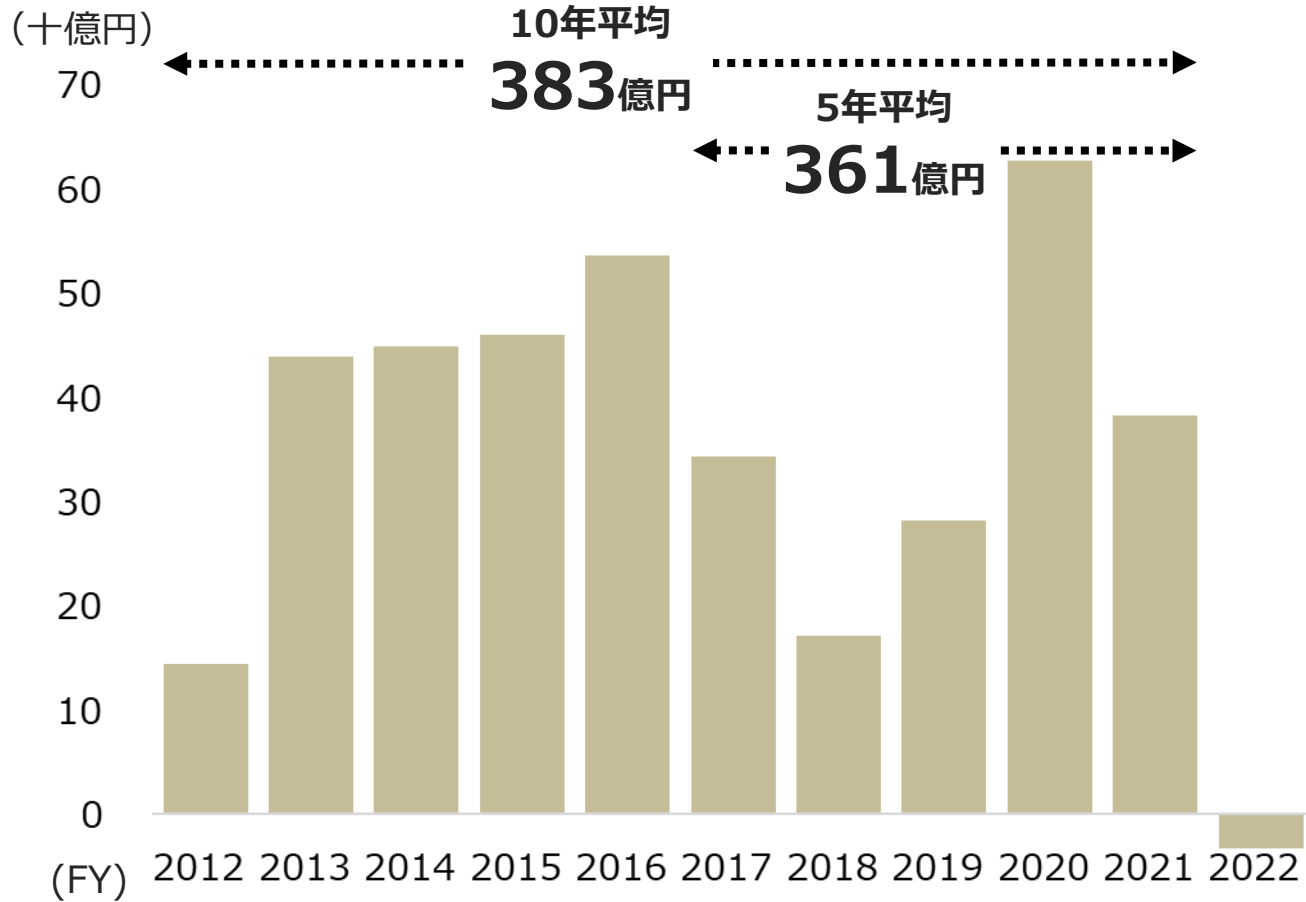
参考資料

Daiwa Securities Group Inc.

ホールセール部門：グローバル・マーケット

2022年度のグローバル・マーケットは、金融政策転換期における不透明なマーケット環境を受け苦戦。ビジネスの選択と集中を進め、今後収益拡大とコスト削減で早期に400億円規模の収支改善を目指す。

経常利益推移



今後の対応

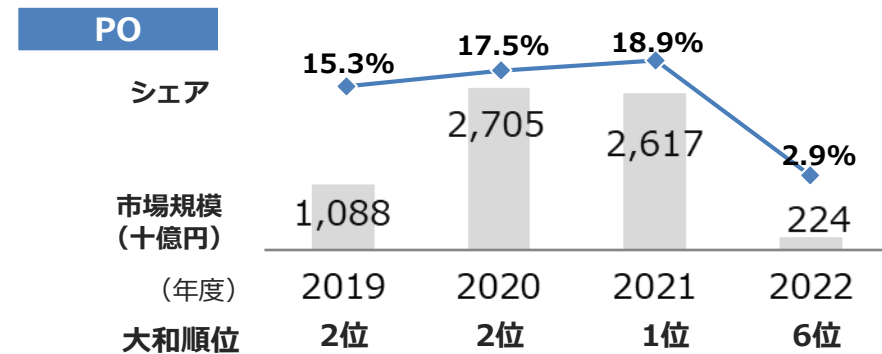
早期に400億円の収支改善を目指す

対応策			計
収益拡大	FICC*	● JGBトレーディングの拡大 ● リテール外債・外国株の拡大	+ 150億円
	EQ	● 法人向けソリューション提供 ● ポジション運営 etc...	+ 150~200億円
	計		+ 300~350億円
+			
コスト削減	海外ビジネス	人員	▲ 50億円
	リサーチコスト	ファンディングコスト	2 ▲ 100億円

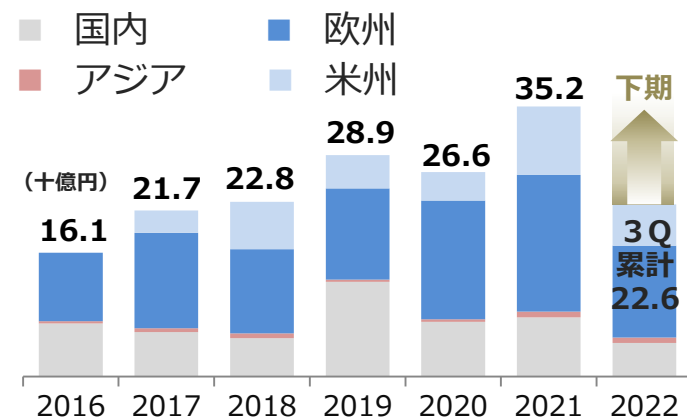
ホールセール部門：グローバル・インベストメント・バンキング

M&Aでは、高い競争優位性を確立しているグローバル4極ネットワークを活用し、見込み案件を制約させ、今後の収益拡大を狙う

ECM市場規模、リーグテーブル順位・シェア*1



M&A関連手数料



グローバルM&Aネットワークの強化



資産形成層に向けた取組み（CONNECT）

投資初心者・資産形成層向けに新しい金融サービスを拡大



全てスマホ完結



手数料が魅力

- 業界最低水準の手数料
- 手数料無料クーポンを毎月配布
毎月10回・年間最大120回まで
売買手数料が無料に

少額から投資可能

- 値がさ株も1株から分散投資
できる「ひな株」
- 100円から毎日積立できる
「まいにち投信」



商品ラインアップも充実

- NISA・つみたてNISAにも対応
- 信用取引、IPO、米株、積立投信等も拡充



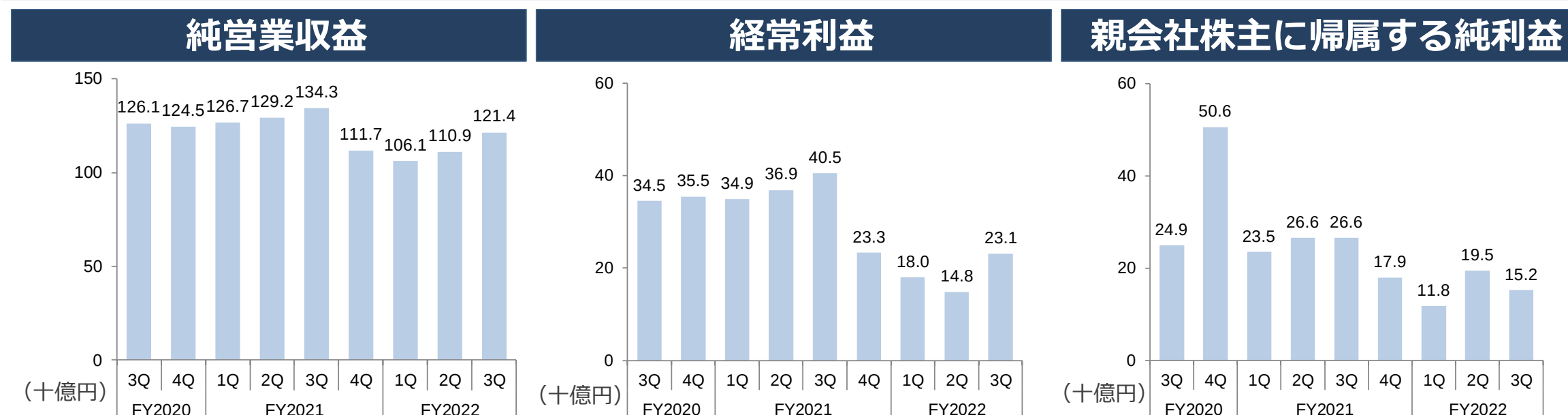
ポイントやクレカも利用可能

- ポイント運用で疑似体験
1株分まで貯まると現物の株に交換可能
- ポイント投資で有価証券の取引に
ポイントがつかえる・たまる
- クレジットカード決済で投信積立も

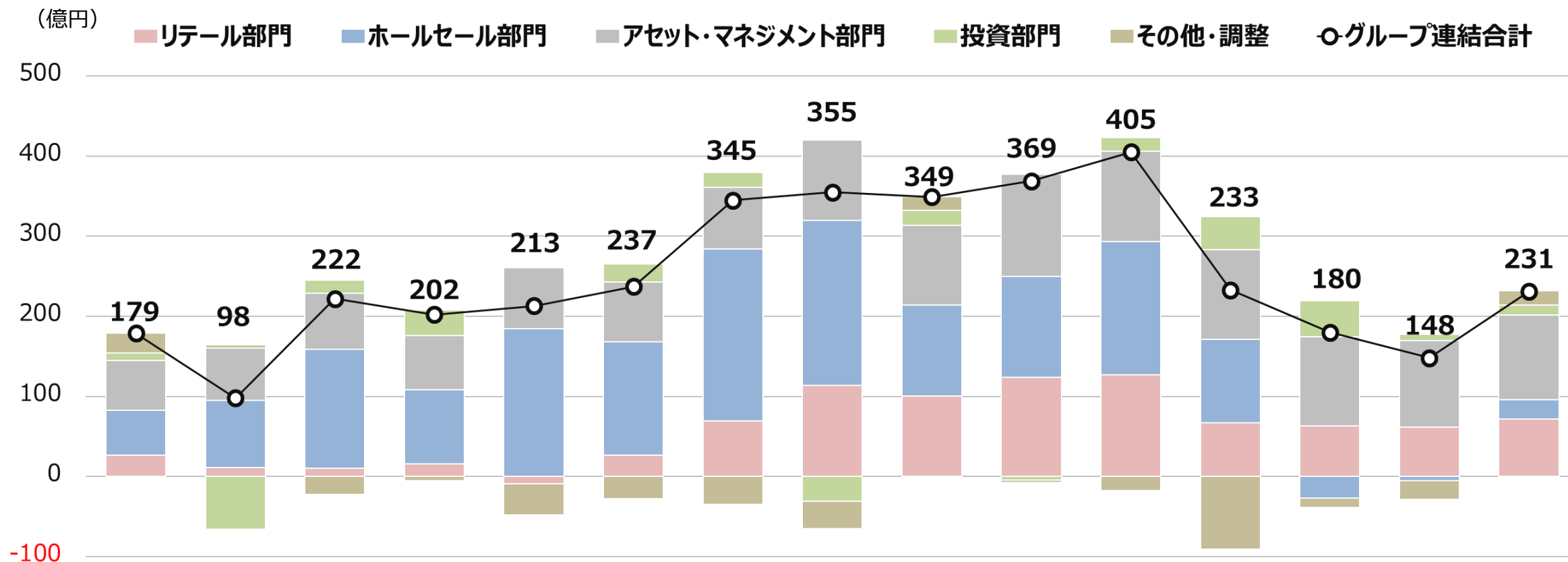


2022年度第3四半期決算概要

グループ連結業績	2022年度 第3四半期累計	前年同期比	2022年度 第3四半期	前四半期比
純営業収益	3,384億円	▲13.3%	1,214億円	+9.5%
経常利益	561億円	▲50.1%	231億円	+56.0%
親会社株主に帰属する純利益	467億円	▲39.2%	152億円	▲21.9%

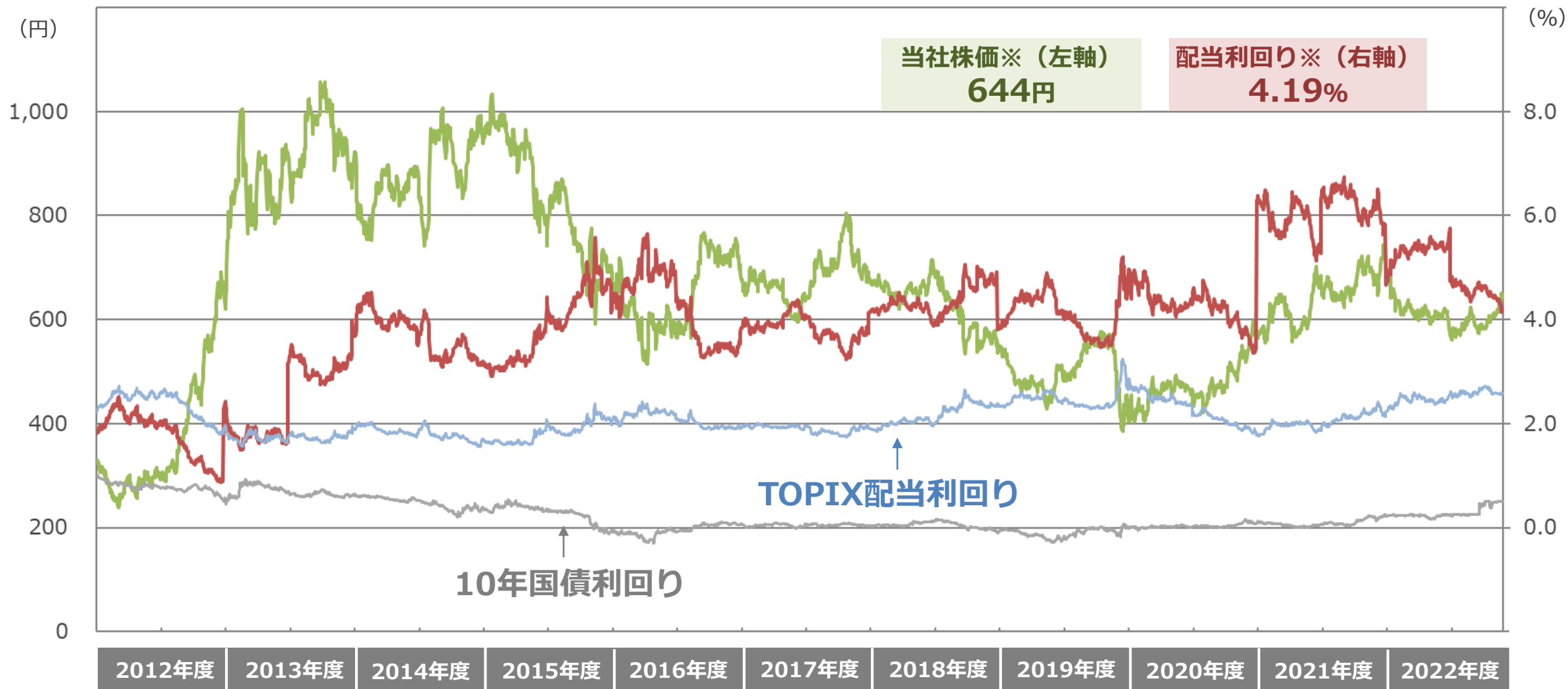


経常利益の推移



2019年度				2020年度				2021年度				2022年度		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期

配当利回り





大和証券グループ本社 経営企画部IR室

E-mail: ir-section@daiwa.co.jp

URL: <https://www.daiwa-grp.jp/ir/>